

# 清流だより

令和5年 2月 3日(金)

北西中学校だより 発行 廣瀬正純



学校教育目標  
「心豊かで かしこく  
たくましい生徒の育成」

## 始業式

1月6日に、3学期が始まりました。校長として「目標を決め、続けて努力をしてほしい」という話をしました。式では長々話をすることができていないので、ここでもう少し詳しく書いておきたいと思います。ご家庭で、継続することの大切さを話すきっかけになればありがたいです。

私の知っている方で、武道の先生がいます。小学校5年生くらいから、80歳を超えた今も毎日厳しい稽古を続けているような方です。その方は一本の指を相手に持たせ、その指を利用して、相手の関節を決めてしまうようなことができてしまいます（しかも相手を見て、加減しながら）。元々の素質もある方だとは思いますが、長い訓練があって初めてできるのだと思います。

70年近く努力を続けることは難しいですが、子供たちが、これから3年、5年と何かに（スポーツでも勉強でも）取り組み続けていくと、周りの人とは違う実力を持つことができるようになります。

それが、これからの人生を生きていく上で重要な役を果たすことも多いと思います。例えば、生徒にとって身近な教師という仕事は、ひとつの教科に特に興味を持ち、その教科の勉強を続けてきたことが職業につながっています（当然これは他の職業でも同じことがいえると思います）。

もちろん、今頑張っていることがそのまま将来につながらないこともありますし、違う何かを見つけることもあると思いますが、何もしなければ変わることはできません。努力し続けたことは、本人の自信となります。ぜひ何か目標を決めて、継続してほしいと思います。

同じように、性格や人柄なども毎日の積み重ねで作られる部分が多いと思います。朝、校門で交通指導をしていると「おはようございます。ありがとうございます。」と「ありがとうございます」を言ってくれる生徒がいます。親切に対して感謝する気持ちを持ち続けることは、その人の人柄となり個性となるのではないのでしょうか。

うれしいことですが、この話をしたら、「ありがとうございます」という生徒が増えました。

## 生徒会役員認証式・任命式・引き継ぎ式

始業式の後、生徒会の会長副会長の認証式・生徒会本部の任命式・現生徒会本部から来年度生徒会本部への引き継ぎ式が行われました。今年度は、コロナによる制限がある中でも、生徒会本部を中心に活発な活動が行われ、充実した生徒会活動となりました。これは「制限のある中でも工夫し、新しいものを創り出そう」という気持ちで生徒たちが取り組んだ結果であると思います。

「シンカ」という言葉をスローガンに今年度活動をしてきましたが、来年度さらなる「シンカ」を期待しています。

## 3学期

年度のまとめの学期でもあり、新しい年の初めの時期でもあります。また、3年生にとっては、中学校最後の学期でもあり、自分の進路を決定する学期でもあります。短い学期ではありますが、大切な学期です。生徒たちの意欲を伸ばすことができるような支援を、学校として取り組んでいきたいと思っています。学校教育へのご協力を今年もよろしくお願いいたします。

